

# 市の考えを問う 一般質問

12月11日・12日・15日の3日間行われた一般質問の主な質問（Q）と答弁（A）の概要を掲載します。



校庭で遊ぶ子どもたち

**Q** 運動公園と圏央ICの道路建設は中止を

松村 和子 議員



**A** 整備は計画的に進めていく

**質問一** 放課後子ども教室の取り組み経過について。

**二** 放課後子ども総合プランの取り組みについて。

**答弁一（教育委員長）** 放課後子ども教室推進事業は、平成19年に文部科学省と厚生労働省が共同で策定した放課後子どもプランに位置付けられた事業である。

本市では、本年3月の社会教育委員会において、運営委員会の設置と地域の実情に応じた新たな放課後の居場所づくりの推進を求める建議書が提出された。その趣旨を踏まえて、学校教育課、地域活動推進課と連携して、本年度から事業がスタートした。

**二（市長）** 放課後児童クラブは、26年11月現在、12クラブで707人の児童が利用している。課題として、児童数が急増している杉下小学校区の児童受入れ確保のため

の施設整備が挙げられる。

放課後子ども教室は、市内8小学校区で13の取り組みが行われている。課題としては、ボランティアなど協力者の人材確保がある。今後の児童の放課後対策は、各地域の実情に応じて進めていく。

**◎その他の質問** 農や自然を生かしたまちづくり事業の成果について

**質問一** 農業大学校用地活用事業（運動公園第2期の平成26年から35年まで）の経費について。

**二** 農業大学校用地活用事業（緑地、水辺関係）の経費について。

**三** 農業大学校用地活用事業（道路関係の26年から29年まで）の経費について。

**答弁一（市長）** 昨年度、農業大学校周辺地域整備検討業務で施設

整備の検討を行った。埼玉県による農業大学校跡地の利用方法や、市体育協会の要望等を踏まえ検討を進める必要があるため、詳細な事業費の算出に至っていない。

**二** 運動公園と農業大学校との間に位置する樹林地や水辺は、自然環境を保全し、遊びや健康増進等の多面的な活用を考えている。今後最適な方策を検討するので、現段階で事業費の算定はできない。

**三** 都市計画道路川越鶴ヶ島線及び鶴ヶ島南通り線は、農業大学校跡地の活用や運動公園のために必要な道路である。川越鶴ヶ島線については、地下水への影響調査を実施しており、その結果を設計や施工に反映する。また、関係機関との調整も残っており、現段階で詳細な事業費は算出していない。

**◎その他の質問** 福祉、教育施設の大幅削減はやめて

**Q**

放課後子ども総合プランの取り組み

大野 洋子 議員



**A**

各地域の実情に応じて進めていく



運動公園周辺